

現代GP

プロジェクトの活動紹介

空港調査風景および エピソード



空港株式会社の鈴木商業企画課長による
学生調査員のヒアリング



NHKテレビのインタビュー



空港ビル内
商業スペースでの調査

調査前日の説明会を含め、3日間のべ27時間にわたる調査が行われました。

○判明している限りでは、回答者の最高齢は81歳の方。低年齢では修学旅行の14歳の中学生。

○学生の歩いた距離は？

2日目の午後、商業空間で学生調査員の1人に万歩計をつけてもらい、4時間後見てみると、なんと9600歩。○『四千万歩の男』とまではいきませんが、まさに足で稼いだ調査。社会調査、最後は体力勝負なり。○第一線で働いている空港会社の方と学生たちの語らひは、調査そのものから仕事の厳しさまで多岐にわたり、インターンシップさながらでした。

調査活動をNHKはじめ、新聞3紙、地元ケーブルテレビが取材。期待度の高さが伺えました。



ご案内

自治体、経済団体、市民団体の皆さまへ

本学の現代GPプログラムも皆さまのご支援により、本号でご案内いたしましたように、順調に進んでおります。予想を超える学生の活動への参加が見られ、地域の文化財、貴重な生活資料の発見や見直し、或いはさまざまな調査データの集約などが現代GP推進室に届けられています。引き続き、ニュースレターを中心にプロジェクトの活動を紹介しながら、調査報告書等を逐次刊行いたします。忌憚のないご意見をいただきたいと存じます。

また2005年度の取り組みについて検討しておりますので、皆さまとの共同研究課題など、ご提案をお待ちします。

現代GPプログラム統括責任者 加藤 幸雄（日本福祉大学副学長）

Newsletterは、現代GPに採択された本学のプログラム「知多広域圏活性化に向けた学生の地域参加」の取り組みを紹介するものです。

※現代GP（現代的教育ニーズ取組支援プログラム）とは、平成16年度の文部科学省施策で、各種審議会からの提言等、社会的要請の強い政策課題に対応したテーマ設定を行い、各大学等から応募された取組の中から、特に優れた教育プロジェクト（取組）を選定し、財政支援を行うことで、高等教育の更なる活性化が促進されることを目的とするものです。

大学院社会福祉学研究科
大学院情報・経営開発研究科
大学院国際社会開発研究科

社会福祉学部
経済学部
情報社会科学部
福祉経営学部
通信教育部

現代GP Newsletter NO.2

2005年3月

現代GP推進室 〒470-3295 愛知県知多郡美浜町奥田
日本福祉大学 経済学部内
TEL (0569) 87-2322 FAX (0569) 87-2273



日本福祉大学